

# SDGsパートナー宣言

2020年11月7日

環境省と公益社団法人日本青年会議所とは、新型コロナウイルス感染症、気候危機などの人類が直面する世界共通の課題に対し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会と2050年までのCO2ゼロエミッションと地域活性化の好循環を実現するため、『SDGs（持続可能な開発目標）』の達成に向けた取り組みをパートナーとして、協働して推進していくことをここに宣言致します。

両者の蓄積した知見やネットワークを活かし、「脱炭素社会」、「循環経済」、「分散型社会」という「3つの移行」による経済社会の「リデザイン（再設計）」を進めていくことで、「地域循環共生圏」（ローカルSDGs）、更にはグリーン社会の創造に向けた以下の取り組みを全国で展開していきます。

## 一、全国各地の青年会議所との連携によるSDGsの全国的な認知度向上及び

「地域循環共生圏」（ローカルSDGs）の創造に向けた具体的取り組みの推進

### 一、政府、地方自治体、企業、住民等の国内外の多様な主体間のネットワーク構築・強化

### 一、中小企業に対する環境に配慮したSDGs、地域における自立分散型エネルギーの

導入、企業の脱炭素経営やESG金融の啓発・普及

### 一、次世代への環境に配慮したSDGsの啓発・普及

### 一、気候危機を踏まえた、脱炭素社会への移行及び2050年までの

CO2ゼロエミッションと地域活性化の好循環に向けた取り組みの協働推進

上記の取り組みにより、政府、地方自治体、企業、住民等の国内外の多様な主体による環境に配慮した持続可能で豊かな活力ある社会である地域循環共生圏（ローカルSDGs）や2050年までのCO2ゼロエミッションと地域活性化の好循環の実現に向けた能動的行動を後押しし、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

環境省  
環境大臣

署名



公益社団法人日本青年会議所  
会頭

署名



# SDGsパートナー宣言

2020年11月7日

環境省と公益社団法人日本青年会議所とは、新型コロナウイルス感染症、気候危機などの人類が直面する世界共通の課題に対し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会と2050年までのCO2ゼロエミッションと地域活性化の好循環を実現するため、『SDGs（持続可能な開発目標）』の達成に向けた取り組みをパートナーとして、協働して推進していくことをここに宣言致します。

両者の蓄積した知見やネットワークを活かし、「脱炭素社会」、「循環経済」、「分散型社会」という「3つの移行」による経済社会の「リデザイン（再設計）」を進めていくことで、「地域循環共生圏」（ローカルSDGs）、更にはグリーン社会の創造に向けた以下の取り組みを全国で展開していきます。

## 一、全国各地の青年会議所との連携によるSDGsの全国的な認知度向上及び

「地域循環共生圏」（ローカルSDGs）の創造に向けた具体的取り組みの推進

### 一、政府、地方自治体、企業、住民等の国内外の多様な主体間のネットワーク構築・強化

### 一、中小企業に対する環境に配慮したSDGs、地域における自立分散型エネルギーの

導入、企業の脱炭素経営やESG金融の啓発・普及

### 一、次世代への環境に配慮したSDGsの啓発・普及

### 一、気候危機を踏まえた、脱炭素社会への移行及び2050年までの

CO2ゼロエミッションと地域活性化の好循環に向けた取り組みの協働推進

上記の取り組みにより、政府、地方自治体、企業、住民等の国内外の多様な主体による環境に配慮した持続可能で豊かな活力ある社会である地域循環共生圏（ローカルSDGs）や2050年までのCO2ゼロエミッションと地域活性化の好循環の実現に向けた能動的行動を後押しし、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

環境省  
環境大臣

公益社団法人日本青年会議所  
会頭

署名

署名